

- (1) 次の文は、高気圧の特徴について説明したものです。文中の { } にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

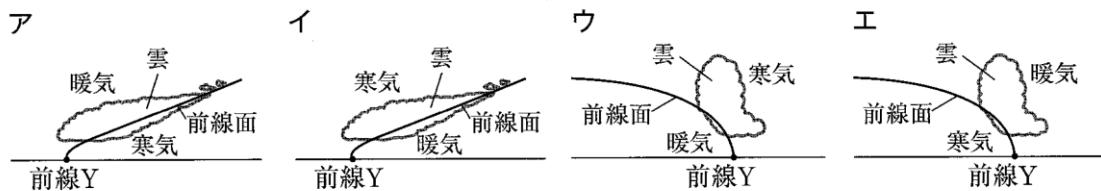
高気圧の地上付近では、① {ア 中心部から周辺に イ 周辺から中心に向かって風がふいており、その風のふき方は② {ア 時計回り イ 反時計回り} である。また、高気圧の中心部には③ {ア 上昇気流 イ 下降気流} が生じている。

- (2) 右の図は、日本付近の低気圧と前線について模式的に表したものです。この低気圧は、西から東へ移動していきます。これについて次の各問い合わせに答えなさい。

- ① 図の前線Xを何前線といいますか。名称を答えなさい。  
 ② 次のうち、地点Pを前線Xが通過したときの、地点Pの気象の変化を説明したものとして最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 短時間に強い雨が降ったあと、気温が上がった。  
 イ 短時間に強い雨が降ったあと、気温が下がった。  
 ウ 長時間おだやかな雨が降ったあと、気温が上がった。  
 エ 長時間おだやかな雨が降ったあと、気温が下がった。

- ③ 図の前線Yの前線面と雲のようすを表したものとして最も適当なものはどれですか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

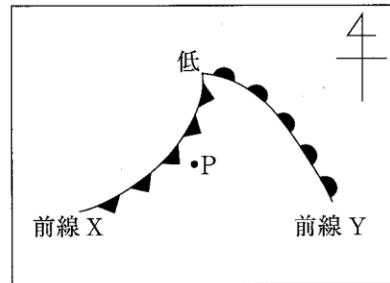


- (3) 日本付近の低気圧や高気圧が西から東へ移動するのは、日本付近の上空で西から東に向かう強い風がふいているからです。この風を何といいますか。名称を答えなさい。

- (2) ① 前線Yは温暖前線です。

② ③ 寒冷前線(前線X)は、寒気が暖気の下にもぐりこみ、暖気を押し上げるように進みます。寒冷前線付近では積雲状の雲が発達して強い雨が短時間降り、通過後は気温が下がって、北寄りの風に変わります。温暖前線(前線Y)付近では層状の雲が発達しておだやかな雨が長時間降り、通過後は気温が上がって、南寄りの風がふきます。

- (3) 春や秋には、移動性高気圧と前線をともなった温帶低気圧が日本列島を次々と通過するため、天気が西から東へと周期的に変化します。



(1)	① ア	② ア	③ イ
	完答		
①	寒冷		
(2)	② イ		
③	ア	39	
(3)	偏西風		